

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34108	図書館制度・経営論 Study of Library System/Management	江良 友子	専門	2	選択	1・2年 後期
<b>科目の概要</b>						
公立図書館の管理運営にかかわる法律、政策、行財政制度を概説し、図書館運営・活動計画の策定と管理運営のあり方、図書館職員をめぐる現況と課題等について解説する。公立図書館の経営の実態例を紹介しながら、課題や問題を考察する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 図書館法について学ぶ ② 図書館関連領域の法規について学ぶ ③ 図書館政策について学ぶ ④ 図書館経営の理論と実際について学ぶ ⑤ 現代図書館が抱える様々な課題について学ぶ			① 図書館法の内容を理解することができる ② 様々な図書館関連法を理解することができる ③ 図書館政策を知ることができる ④ 図書館経営の様々な要素を理解することができる ⑤ 現代の図書館が抱えている課題を自分なりに考えることができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	自ら、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	日常的に公共図書館や書店を利用することができる。				
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞に目を通し、社会の流れを把握することができる。				
	計画力					
	創造力	理想的な図書館像を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	見学してきた図書館について、わかりやすく発表することができる。				
	傾聴力	他の人の発表を聞いて、感想や疑問点をなげかけることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「図書館情報学基礎資料」 2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円 その他、講義用レジュメおよび追加資料を配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。 参考文献:授業の中で紹介する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 特に、図書館概論と図書館サービス論 資格との関連:図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
前期開講の「図書館概論」と「図書館サービス論」の授業を受けていないと、理解することが難しい授業内容が含まれる。未履修の場合は、事前に相談に来ること。 他の図書館に関する科目を履修し、図書館を実際によく利用していると、この科目の内容を理解しやすい。 法律など難しい文章を読み、理解する必要があるため、そのつもりで取り組むこと。			遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。 提出する課題は、次回授業日に集め、返却しない。必ずコピーをとっておくこと。 授業の中で新聞社(名古屋市)の見学を予定しているが、往復の交通費は自己負担とする。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート	75	①	✓	レポート①: 見学した公立図書館について (サービス) (25 点)
		②	✓	レポート②: 見学した公立図書館について(図書館施設・設備) (25 点)
		③	✓	レポート③: 図書館と新聞: 新聞社見学から学んだこと (25 点)
		④	✓	評価のポイント (表記・表現等)
		⑤	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字数制限が守られている。</li> <li>・口語やくだけた表現を使用せず、正しい文章表現を用いている。</li> <li>・「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。</li> <li>・段落ははじめの1字下げなど、基本的なルールを守っている。</li> <li>・情報源は、信頼のおける適切なものを使用している(引用・参考文献)を記載できている。</li> </ul> (内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに合致した内容となっている。</li> <li>・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べている。</li> <li>・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。</li> <li>・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。</li> <li>・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。</li> </ul>
成果発表 (口頭・実技)	15	①		評価のポイント
		②		課題①
		③		作成したレポートをそのまま読み上げるのではなく、わかりやすい発表をするための工夫がされているか。(10 点)
		④		担当した週の新聞一面を飾った記事
		⑤	✓	わかりやすくまとめて、感想と共に発表する。(5 点)
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 授業で指示がなくても、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。
		②	✓	(実行力) 座学であっても、集中して粘り強く学ぶことができる。
		③	✓	(課題発見力) 毎日、日課として新聞に目を通して: 授業の中で、1週間のトピックについて発表時間を設ける。
		④	✓	(創造力) 見やすいレポート作成ができている。
		⑤	✓	(発信力) 見学した図書館の魅力や問題点をわかりやすく発表できる。 (傾聴力) 他の人の発表に耳を傾け、そこから何かを学ぼうとする意欲がある。 (規律性) 提出期限を順守して提出物を出すことができる。集合時間の5分前には余裕をもって到着することができる。 ※上記の7項目は、課題発見力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10 点
その他				
総合評価 割合	100			レポート、成果発表、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
S(秀)評価 ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 67 点以上である ・成果発表の総計が 13 点以上である ・学修態度であげた項目が全て達成できている A(優)評価 ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 60 点以上である ・成果発表の総計が 12 点以上である ・学修態度の7項目が 6 項目以上達成できている	B(良)評価 ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 52 点以上である ・成果発表の総計が 10 点以上である ・学修態度の7項目が 5 項目以上達成できている C(可)評価 ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 45 点以上である ・成果発表の総計が 9 点以上である ・学修態度の7項目が 4 項目以上達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 図書館制度・経営論を学習する意義	講義 質疑応答	図書館制度・経営論を学ぶ意義を理解できる	(復習)配布した資料を読み返す。	180	主体性 規律性 傾聴力
2週 /	図書館法 図書館法とその精神を学ぶ 図書館奉仕とは何か	講義 質疑応答	図書館法を通読することができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)図書館法を最後まで読む	180	規律性 傾聴力 実行力
3週 /	図書館に関する法律・法規① 図書館に関する法律について学ぶ	講義 質疑応答	法体系の中での図書館の位置付けを知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で扱った関係法規を復習する	180	規律性 傾聴力
4週 /	図書館に関する法律・法規② 図書館に関する法規について学ぶ	講義 質疑応答	法体系の中での図書館の位置付けを理解することができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)公共図書館へ行き、サービスについてレポート作成する。	180	規律性 傾聴力
5週 /	図書館の自由 図書館の自由に関する宣言	講義 レポート提出	図書館の自由に関する各種事例を知ることができる	(宿題)図書館サービスについて発表準備をする。	180	主体性 規律性 傾聴力
6週 /	レポート発表 コメント記入	図書館見学についてのレポート発表を行い、質問・感想を述べる(全員)。レポートについてフィードバック	他の人の発表を批判的に聞き、意見を述べることができる。	(復習)第4回時に配布した資料を読み返す。 (宿題)図書館の自由に関する宣言に目を通す	180	発信力 傾聴力
7週 /	図書館政策(国と地方) 図書館に関する政策	講義 質疑応答	国と地方による図書館政策を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)配布資料で図書館政策についての確認	180	規律性 傾聴力
8週 /	図書館業務の理論と実際 図書館業務の実際	講義 質疑応答	様々な図書館業務を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)ランガタンの五法則に目を通す	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / /	図書館組織① 館長・司書の役割	講義 質疑応答	館長と司書の役割を理解 することができる	(復習)配布した資料 を読み返す。 (宿題)配布資料で 館長と司書の役割確 認をする。	180	規律性 傾聴力
10週 / /	図書館組織② 経営と雇用の多様化	講義 質疑応答	図書館経営の問題点を 考えることができる	(復習)配布した資料 を読み返す。 (宿題)配布資料で 図書館経営問題点 の確認・理解する。	180	規律性 傾聴力
11週 / /	図書館と出版流通 新聞社の出版・流通について 学ぶ	見学	図書館資料としての新 聞、作成元の新聞社を知 ることでマスコミと情報に ついて理解を深めること ができる	(予習)新聞を読み、 紙面づくりについて 考える。 (宿題)「図書館と新 聞:新聞社見学から 学んだこと」(文字数 1000字～上限なし)	180	規律性 傾聴力
12週 / /	図書館施設・設備 図書館施設・設備について実 際の図書館建築から学ぶ	講義 質疑応答	図書館施設・設備・家具 を知ることができる	(復習)配布した資料 を読み返す。 (宿題)配布資料で 図書館施設・設備・ 家具についての確 認	180	規律性 傾聴力
13週 / /	図書館評価について 図書館業務・サービスの調査と 評価について学ぶ	講義 質疑応答 「図書館と新聞:新 聞社見学から学んだ こと」レポート提出	図書館経営・サービスの 評価に関する方法と考 え方を理解する	(復習)配布した資料 を読み返す。 (宿題)「公共図書館 へ行き、図書館施 設・設備についてレ ポート作成する」(文 字数 1000 字以上、 図面付き)	180	規律性 傾聴力 課題発 見力 創造力
14週 / /	図書館を支える力 (協議会・ ボランティア等図書館関係団 体) 図書館関係団体について学ぶ	講義 質疑応答 レポート(新聞)につ いてフィードバック 「公共図書館へ行 き、図書館施設・設 備について」レポ ート提出	様々な図書館に関係する 団体を知ることができる	(復習)配布した資料 を読み返す。 (宿題)配布資料で 図書館関係団体に ついての確認・理 解をする。	180	規律性 傾聴力
15週 / /	図書館と危機管理 図書館経営の現状と課題につ いて	講義 質疑応答 レポート(図書館施 設)についてフィ ードバック	図書館で発生する危険な 事例と対処方法を知ること ができる	(復習)第1～15回 授業で配布した資料 を読み返す。	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力